

羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL

教職を目指す学生・卒業生のために

COMPASS

第 118 号 2017.3.11(土) 発行

関西外国語大学
教職教育センター

SCET

ご卒業おめでとう！ 卒業は新たな出発！！

外国語学部 教授 岡澤潤次

教職の醍醐味は、成長が分かる面白さにあります。

「どうして先生になりたいの？」と何回も繰り返し尋ねられた。「教えてもらったあんな先生になりたい」という学生が多い。それは、教えてもらった恩師への崇敬の気持ちであり、憧れのあらわれでもあるからです。と同時に、何よりも自分自身が成長できた実感と証です。

教職科目を履修した動機は様々であっても、学修を進めるほどに徐々に芽が膨らみ、ボランティア等色々な経験を通して、やがて教職を本気で目指すこととなる。今では天職とさえ自認できるまでに成長した。良い意味で競い合い切磋琢磨した同じ志を持つ仲間が増えてきた。ともに支え合える友情を育み自分の進路を確定し、一直線に進む姿は眩しいほど自信に溢れている。

とは言え、現実決して平坦ではない。予期せぬことが突然起こることがあります。誰にでもやってきて、せっかく培ってきた自信を喪失し、悩みます。そんな時、あなたはどのようにしましょうか。・・・

落ち着いて自分を取り戻してください。今が原点です。千利休師曰く「けいことは一より習い十を知り、十よりかえるもとのその一」困ったときの原点回帰が大切です。気分転換が一番です。一休みの休憩もいいでしょう。これからの厳しい人間社会では、自分の都合通りに行くことが多くありません。

生涯学び続ける姿勢(教育の原点)

津田梅子(津田塾大学創設者)先生は、卒業生に「単に知識を与えるのではなく、知識を得ようという願望とそれを得る力を与えること」であり、「思考力や判断力を育むこと、そして、例えば本を読んで、知識的にも道徳的にも、自分の前にこんな多くの学ぶことがあること知ること」なのですというような言葉を贈っています。さらに「私たちは、単に学ぶだけでなく、これからさらに学び、考えることができるよう細心にして正確な思考の能力を身に付けることを願ってきました。教師や他人に依存することを促す教育は、卒業して校門を後にするとともに終わってしまいます」

この項教育機関誌「教育展望」2012年8月号より引用

今、私たちは、情報が溢れ、多様な価値観がぶつかり合い、急速に変化する社会に身を置いています。そんな社会において、自分の力量を発揮して社会に貢献するためには、強靱な精神力、確かな判断力、しなやかな適応力、大胆な発想の転換ができる力などが求められています。学びとは生きていく上での底力です。色々な問題に対応できる力を育むことです。その力の基盤には、「自分で考える姿勢」と「生涯を通して学ぶ姿勢」があり、それを身につけていけば、平坦でない道でも道は切り開いていけるという津田梅子先生の考えは今も生きているものと考えます。そのためにも、誰かに言われてするのではなく、失敗を恐れず、勇気を持って試してみる積極性が大切です。これから本格的な挑戦が始まります。健やかに朗らかに更なる高みを目指してください。チャレンジ精神に乾杯。そして幸多かれと祈ります。

ご卒業おめでとうございます

英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース 角野茂樹
(教職教育センター所長)

4回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

私たち教職員にとっても、皆さんが巣立っていくことに感慨深いこの春を迎えています。

2013年、1回生の時に「教職概論」で出会った志し高き青年、2回生の「教育制度概論」で教育制度の現実と矛盾への葛藤、3回生の「生徒指導論」で児童生徒が直面する教育問題に向き合いグループ討議での白熱した議論を思い出します。また、夜スペシャルで教育時事に真摯に向き合い自らの解を求めている姿、さらには教採合宿で、先輩教員にサポートされ教員としての意欲を高め、夏のサマースペシャルでは、堂々と模擬授業を披露していた姿はたくましく映っていました。そして教職実践演習、最後の授業、どれも昨日のことのように覚えています。

教職の世界に飛び込んでいく皆さんにとっては、これまでの経験や学びの成果をもって学校現場という生身の児童生徒と向き合う場で「職業」として実践していくこととなります。きっと喜びと不安が入り混じりながらも、やる気に燃えていることでしょう。

今、学校現場では、使命感と情熱にあふれる若い教師が児童生徒に寄り添い、愛情いっぱいの教育をと、皆さんに対する期待が大きいです。教材研究をしっかりと授業に向き合い生徒の持てるチカラと自らの指導力を引き出してください。日々の積み重ねが少しずつ教師としての力量を高めていくことになるでしょう。

教育の世界に「変容」という言葉があります。この言葉の意味は、教師の熱のこもった継続的な指導によって「子どもの内面に変化」をもたらし、「子ども自らが自律しようとする姿」の表れを受けとめることができるようになるということです。その時、教師は指導者となります。

2017年4月1日は、教師になる目的を実現しようとするスタートの日です。どんな教師になるのか、教師になって何をしたいのかを今一度思い起こし、自らの人生のロードマップを描き自己実現へとひたすら走り続けてください。

The great teacher inspires.



祝 卒業

英語キャリア学部英語キャリア学科小学校教員コース 小寺正一

卒業おめでとうございます。

大学での学びをもとに、皆さん方が、教職をはじめ教育に関するいろいろな分野で活躍をされることを期待しています。

これからの時代には、基礎的・基本的な知識や技能の習得と、自分で進んで学び考え課題に取り組み力の育成の両方を総合的に展開することが求められています。習得型の教育と探究型の教育の総合です。

現代は社会の変化が激しい。次々と新しいものが登場する。だれもが、これまで経験したことのない社会状況を切り開いていく必要があるのです。だから、学校教育においても、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと習得するとともに、絶えず新しい知識や技能も学び続け、それらを使って社会の課題に取り組む主体的な課題解決能力を鍛えることが重要になっています。探究力や課題解決能力を鍛える時代になったととらえるべきでしょう。

新しい時代を切り開いていける力の育成をこれからの教育は求められます。とすれば、教師も知識量を誇るだけでなく、自ら進んで学び考え課題に取り組み力を高める必要があると思われます。日々の生活でも、与えられるものだけに満足せず、先を見通し、必要な情報を集め、それらを使いこなして課題を解決する力を高める努力を続け、新しい時代、新しい社会を動かす次の若い世代を育てていただくことを期待しています。

「卒業していく皆さんに祝福と期待をこめて」

外国語学部 教授 渡邊一郎

ご卒業おめでとうございます。いよいよ教員としての第一歩を踏み出そうとしている皆さんに心から祝福の拍手をおくります。

さて、皆さんが成し遂げたこと、例えば卒業できたことや教員免許を手にしたことなどの一つ一つを思い起こせば、どれも自分一人の力だけで成し遂げた訳ではなかったことに気が付くでしょう。たまたま、そうなかっただけでしょうか。そうではありませんよ。

「無用の用」という言葉を聞いたことがありますか。

あなたが平地をふつうの歩幅で歩いたとします。その足跡の部分だけを残して、その周りを、例えば10m掘り下げてみましょう。地上10mの足跡の柱です。さて、この柱の足跡に従って、あなたは歩くことができますか。困難でしょう。自然に歩くには、足跡の部分だけが必要なのではな

く、その周囲もしっかり役に立っているのだということに気付くはずです。自分一人だけではないと実感することが大切です。社会で生きていくうえで、このことを忘れないで欲しいと思います。

社会の荒波に果敢に乗り出して行こうとしている皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、ご精進を期待したいと思います。

Congratulations on Your Graduation!!

Sense of Diversity,

Sense of Balance and Sense of Stability

Takahiko Nishimura

In February after six years' absence I visited the University of Sothern Queensland which I graduated from. Near my university there is a famous historical park. I found the board messages under the biggest tree which everyone knows in this area. On your graduation I will give these instructive messages under the tree. The title is "ADVICE FROM A TREE"



- ★ Stand tall and proud
- ★ Think long term
- ★ Go out on a limb
- ★ Remember your root
- ★ Be flexible and accept change
- ★ Embrace the seasons
- ★ Feel the sun, the rain and the wind
- ★ Admire the moon and the stars
- ★ Be content with you nature beauty
- ★ Enjoy the view!

Please keep your great memories in Kansaigaidai and these instructive messages in your mind. I hope you will develop "Sense of Diversity", "Sense of Balance" and "Sense of Stability". I am sure you will be successful in your future. Congratulations on your graduation!! Go for it!!

シリーズ⑰「心の窓を少し開いて！」

短期大学部 教授 明石一朗

【何気ない言葉が人生を変える】

国際コミュニケーション学会名誉会長の鈴木秀子さんが、ある雑誌に「何気ない言葉や振る舞いが時に、相手の人生を大きく変えることがある」と書かれている。

その話とは、アメリカ人のある神父が若い頃、インドのマザー・テレサの「死を待つ人の家」でボランティアに従事していた時のこと。そこでの彼の役割は、風呂に入れられた病人をバスタオルで受け止めることだった。ところが、始めたばかりの頃、痩せこけて体に変形した男性が目の前に現れ、思わず後ずさりしてしまう。怖じ気づく神父を見るに見かねたのだろう、マザーが代わりに男性を受け止め、体を拭きながら静かに語り掛けた。

「あなたは大切な人です。あなたは神様から許されて愛し抜かれています」すると、死人同然の男性がうっすらと目を開いて微笑みを浮かべたのだ。

「たとえ死の間際であっても、憐れみや同情ではなく一人の人間として対等に接してくれる人が側にいるだけで、人は温かい愛に満ちた心に生まれ変わることができるのです」

教師の仕事の一番は何か。それは子どもへの愛情である。一人の人間として子どもを尊重することである。ダメな子どもは一人もいない。子どもは毎日が旬。命の輝きを成長へと導くのが教育の営みである。「あれができていない。ここがダメだ」という否定的な減点主義でなく、一人ひとりの子どもの良いところを理解する加点主義でありたい。まずは、笑顔で明るく元気に声をかけることから始めたい。

編集後記——教職教育センターより——

先日、散歩をしていると梅が花をつけていました。見下ろせば多くの梅が花をつけています。

3月5日は、二十四節気の啓蟄（けいちつ）でした。これは、「暖かくなって虫が土から出てくる時期」をさしています。虫たちも冬眠から覚めてきます。

長かった冬も終わり春の訪れです。

巣立たれる皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈りいたします。